学校番号	１０６

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し表現する「絵画・彫刻」と、目的・機能・美しさなどを考えて表現する「デザイン」と、お互いの作品を批評し良さを話し合う活動も含めた「鑑賞」の分野について学習します。さらにカメラ機能を利用し「映像メディア表現」について学びます。
〇表現材料の材質を生かし、使い方や制作手順、色彩の配色、表現方法の工夫など創造的な表現を深めて行きます。一人ひとりの違った感じ方や見方を認識し合いましょう。日本をはじめ世界の美術の歴史や表現の特質について、作品を通して認識していきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を培う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	ワークシート 制作の様子 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅰ」の学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、様々な価値観や世界観を通して美術文化を知る。授業を受ける時の注意。準備する物品の説明。	◎			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	絵画表現	「絵画」 ・鉛筆を使って目の前の対象を形や質感・明暗を表現する。	◎		○	◎	a:対象物の形態や表情についてとらえようとしている。 意図に応じて材料や用具の特性を活かすことができている。 c:幅広い表現方法を身につけるため鉛筆の使い方や特性、消しゴムについて学ぶことができる。 ｄ:相互に作品を鑑賞し良さを見つける。	ワークシート 制作の様子 作品
	デザイン表現	[デザイン] ・課題テーマ「フェスティバル」について目的や条件、美しさを考え主題を生成する。 ・自分が創ろうとする作品の主題をアイデアスケッチ(エスキース)を通して探り、見出す。 ・色彩についての知識を教科書等を通して知り、配色を工夫し色彩を構成する。	◎	◎	◎	◎	a:課題テーマ「フェスティバル」のイメージから、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色などの働きを考えて創造的な表現の構想を練っている。 C:絵の具の材質を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d: 他者の作品発表を見て良さを感じ取ることができる。自ら制作した作品について説明し伝えることができる。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

2学期	立体デザイン・映像メディア表現	[立体・デザイン] ・ダンボールの素材を利用し想像上の動く生物を考え制作する。 [映像メディア表現] ・タブレットを利用しコマ撮りアニメーションの手法を学び簡単な動画を作成する。 [鑑賞] ・アニメーションを鑑賞し、自身が作ったものや他者の作品について理解し、良さを感じることができる。	◎ ◎ ◎	○ ◎	◎ ◎ ○	◎ ○ ◎	a:想像上の生物をイメージしダンボールの素材を利用し制作する。さらにカメラ機能を使って撮影するということを理解した上で制作を行っている。 ｂ:簡単なアニメーションの手法を学び自分のイメージを膨らませ話を構築することができる。 ｃ:より立体的な生物の特徴を作成するため主題に合った工夫がされている。 ｄ:他者の作品発表を見て良さを感じ取ることができる。自ら制作した作品について説明し伝えることができる。	ワークシート グループワークの様子 制作途中の作品 作品 発表 ワークシート
	絵画表現	[絵画] ・花のスケッチをもとにイメージを膨らませ構想する。 ・日本画材料について理解し、意図に応じて材料や用具の特性を活かす。 [鑑賞] ・相互に作品を鑑賞しあう。 ・日本美術について歴史に触れ文化について価値観など考えさせる。	◎ ◎	○	◎ ○	◎ ◎	a:多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について描き表現することができる。また、日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本および諸外国の美術文化について理解を深めている。 ｂ:スケッチをもとに構想を膨らませ主題を生成している。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート

3学期		[絵画] ・ルネサンス期から印象派、シュールレアリスムの作品を油絵の具を使って模写する。 ・油絵の具の特性について学び表現方法を取得することができる。 [鑑賞] ・西洋の美術についての歴史を学ぶ。 ・主題について考えることができる。	◎ ◎	○	◎	◎ ◎	a・c:基本的な油絵の具の特徴について学び手本となるルネサンス期から 20 世紀の代表的な絵画作品より構図・色彩を再現することができる。 b:手本より作者の表現技法等を感じ取り、画材を工夫し再現することができる。 a・d:時代ごとに様々な美術の表現が生まれ現代にも影響を与えていることに気づくことができる。描きながら主題について考えることができる。	制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a…美術への関心・意欲・態度　b…発想や構想の能力
c…創造的な技能　d…鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。